

4 創造農村部会（事務局：丹波篠山市）

創造農村部会は、文化芸術の創造都市政策の推進にあたり、特に人口規模の小さな自治体や農村地域を持つ自治体が、文化芸術による創造性を活かして、地域課題の解決やまちづくりに取組むネットワーク化を図り、相互の交流や情報交換をしながら、創造農村ならではの政策の実験を目指すものである。令和4年度は全3回、部会を開催した。

4－1. 第1回創造農村部会

第1回創造農村部会では、CCNJ 顧問佐々木先生から「これから創造農村」として講演をいただいた後、事前に各自治体に作成していただいたワーキングシートに沿って、各創造農村の取組み内容や課題などを共有し意見交換を行い、最後に丹波篠山市より「創造農村の取り組み」の発表を実施した。2日目にはエクスカーションを実施した。

| | |
|-----------|--|
| 開催日 | 令和4(2022)年9月14日(水)、15日(木) |
| 開催方法 | 丹波篠山市フィールドステーション2F会議室 ほか オンライン(Zoom) |
| 主 催 | 丹波篠山市 |
| 共 催 | 文化庁、創造都市ネットワーク日本(CCNJ) |
| 事務局 | 丹波篠山市 |
| 参加人数 | 創造農村部会 12名(現地10名、オンライン2名) エクスカーション 8名 |
| 参加自治体・団体数 | 5自治体 |
| 次 第 | ▽9月14日(水) 第1回創造農村部会 □開催挨拶 ・酒井誠氏(丹波篠山市観光交流部商工観光課 課長) ・濱田泰栄氏(文化庁地域文化創生本部暮らしの文化アートグループリーダー) □講演『これから創造農村』 ・佐々木雅幸氏(CCNJ 顧問／文化庁文化創造アナリスト／金沢星稜大学特任教授／学校法人稻置学園 理事) □各部会員で意見交換 ・ワーキングシート内容の共有 丹波篠山市・東川町・可児市・真庭市・多良木町 □丹波篠山市からの創造農村の取組み紹介 ・垣内由起子氏(丹波篠山市観光交流部商工観光課 係長) □今後の部会について ・CCNJ事務局アルパック ▽9月15日(木) エクスカーション ・『丹波篠山里山暮らし5日間～地域イノベーションの最前線～』 ／Masse 丹波篠山の取組・福住の取組・クラフトヴィレッジの取組 |

【全体概要】

- 丹波篠山市及び文化庁から開会の挨拶、①CCNJ 顧問佐々木先生より『これからの創造農村』についての講演②自治体からワーキングシートの発表③丹波篠山市から「丹波篠山市の取り組み」についての発表を実施し、意見交換を行った。
- 2日目にはエクスカーションを実施し、丹波篠山市内の福住地区で移住促進の取組、工芸作家の工房でクラフトヴィレッジの取組などを視察した。

【担当者ミーティング概略】

1. CCNJ 顧問佐々木先生より「これからの創造農村」の講演

創造農村の取り組みの歴史を振り返り、創造農村確立の経緯や、創造都市と創造農村の違いについて、また海外の創造都市の事例を参考に、今後国内で目指すべき創造農村としての取組などについて講演された。

2. 創造農村各部会員より「ワーキングシート」の発表

各自治体で実施する創造農村の取組みの紹介、及びその取組みを実施する目的、課題、また創造農村部会に求めていることについて、参加者からの発表と意見交換を行った。

3. 丹波篠山市より「丹波篠山市の取り組み」の発表

丹波篠山市の創造農村部会の契機となった平成21年の「丹波篠山築城400年祭」や、創造農村イノベーションの先駆事例として、丹波篠山市の生活や暮らしそのものを創造的な取組と捉えて観光コンテンツとした「里山暮らしの5日間～地域イノベーションの最前線～」について、さらに、移住する工芸作家の繋がりを目的としたクラフトマーケット等の取組について発表した。

